

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校 国際情報工科大学校	平成13年12月11日	水野 和哉	〒963-8811 福島県郡山市方八町2丁目4番15号 (電話) 024-956-0030				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 新潟総合学院	平成7年3月24日	池田 祥護	〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通一番町494番地3 (電話) 025-210-8565				
目的	本校は、工業関係・文化教養関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を養成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士		高度専門士		
文化・教養	文化教養専門課程	モバイルアプリケーション科	平成26年1月28日 文部科学大臣告示7号				
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1944	913	153	878	0	0
	単位時間						
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数		総教員数		
30人	17人	3人	2人		5人		
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前期：4月1日から9月30日まで ■ 後期：10月1日から3月31日まで 		成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成績表： 有 ■ 成績評価の基準・方法 評価点数に応じた4段階評価制			
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学年始め：4月1日から4月10日まで ■ 夏季：7月25日から8月31日まで ■ 冬季：12月25日から1月7日まで ■ 学年末：2月11日から3月31日まで 		卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総出席率90%以上 (補講による充当分は含まず) ■ 科目評価すべての科目C以上 ■ 基準検定の取得・課題の提出 			
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■ クラス担任制： 有 ■ 長期欠席者への指導等の対応 家庭訪問、三者面談を随時実施		課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課外活動の種類 学生ボランティア等			
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主な就職先、業界等 ソフト・アプリ開発業界 システム設計・保守管理業界		主な資格・検定等	<ul style="list-style-type: none"> ■ サークル活動： 有 ・Androidアプリケーション技術者試験ベーシック ・情報処理技術者能力認定試験3級 ・Javaプログラミング能力認定試験3級			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 就職率^{※1} : 100% ■ 卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 100% ■ その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)							
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中途退学者 0名 平成26年4月1日 在学者 22名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 22名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 中退率 0% 				
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中途退学的主要原因 対象なし						
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中退防止のための取組 クラス担任制を活かし状況の把握をし必要に応じてスクールカウンセリング制度を併用し防止に努めている						
ホームページ	URL : http://www.wiz.ac.jp/						

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

スマートフォンアプリケーション開発技術者育成において、より実践的かつ最新の知識・技能を有する者を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、現在実務に従事する非常勤講師の講義(座学)のほか、すべての在學生は2年次までにIT企業特別講義を行っている。今後も企業側・学生側双方の意見、改善点を各々フィードバックし、教育課程の改善を行う方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
村 上 史 成	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 副校長
和 田 秀 勝	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 教務部長
藁 谷 昌 司	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 学科長
武 田 直 樹	学校法人新潟総合学院 専門学校国際情報工科大学校 教員
杉 山 安 洋	日本大学 工学部 情報工学科 教授
國 井 稔	フリーランスプログラマー
浅 井 渉	株式会社デザインウム サービス開発部 部長

(開催日時)

第1回 平成27年7月28日 17:00 ~ 18:00
第2回 平成27年9月8日 17:00 ~ 18:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

卒業後の即戦力を目指すため、最新アプリ開発に関する実習内容を強化し、受入れ企業に対しては、マンツーマン指導の対応を要請するとともに、複数部署での実務研修を実施する方針とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
Androidアプリケーション実習	テーマに沿ったアプリケーション開発実習	株式会社ビーアライブ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
青 柳 嘉 一 郎	専門学校 国際情報工科大学校 元学校長
志 賀 光 晴	一般社団法人 福島県自動車整備振興会 専務理事
嶋 影 健 一	公益社団法人 日本建築家協会東北支部 会員建築家
中 林 寿 文	特定非営利活動法人 国際ゲーム開発者協会日本 副理事長
若 松 信 一 郎	光栄電気通信工業株式会社 代表取締役社長
佐 藤 理 夫	福島大学 共生システム理工学類 教授
杉 山 安 洋	日本大学 工学部 情報工学科 教授

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.wiz.ac.jp/shokujitsu.html](http://www.wiz.ac.jp/shokujitsu.html)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.wiz.ac.jp/](http://www.wiz.ac.jp/)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程モバイルアプリケーション科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コンピュータ概論	基本情報テクノロジ系の講義	1前	140	-	○			○		○		
○			アルゴリズム	基本情報アルゴリズム系の講義	1前	70	-	○			○		○		
○			システム設計と情報化	基本情報ストラテジマネジメント系の講義	1前	98	-	○			○		○		
○			総合演習	基本情報知識応用の講義型演習	1後	28	-	○			○		○		
○			C言語	c言語を使用したプログラム制作実習	1前	98	-			○	○		○		
○			Web基礎	Webに関する基礎知識を履修する講義	1後	60	-	○			○		○		
○			通信ネットワーク I	通信ネットワークに関連する著作権を学ぶ講義	1後	20	-	○			○		○		
○			アプリケーション実習	アプリケーション企画の実習	1後	60	-			○	○		○		
○			Android 基礎知識	Androidアプリケーション基礎実習	1後	60	-			○	○		○		
合計					9科目		634単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：情報処理技術者能力認定試験3級・Javaプログラミング能力認定試験3級取得 履修方法：座学及びOA端末・スマートフォン等の教材を使用した実習・演習	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程モバイルアプリケーション科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			Android アプリケーション実習	Androidアプリケーション応用実習	1後	60	-			○	○		○		
○			コミュニケーション	開発技術者に必要なコミュニケーション力向上の実習	1前	40	-			○	○		○		
○			就職実務	就職に関する試験、面接対策講義	1後	96	-	○			○		○		
○			基本情報特別講義	基本情報技術者試験合格に向けた特別講義	1後	245	-	○			○		○		
○			プレゼンテーション技法	プレゼンテーション技法向上のための特別実習	2前	33	-			○	○		○		
○			Photoshop実習	アイコン及び画像を作るための実習	2後	71	-			○	○			○	
○			モバイルWebデザイン	モバイル用Webページ制作実習	2前	102	-			○	○			○	
○			iPhoneアプリケーション開発実習	iPhoneアプリケーションの基礎実習	2後	152	-			○	○			○	
○			Android アプリケーション実習	テーマに沿ったアプリケーション開発実習	2前	184	-			○	○		○	○	
合計					9科目	983単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：情報処理技術者能力認定試験3級・Javaプログラミング能力認定試験3級取得 履修方法：座学及びOA端末・スマートフォン等の教材を使用した実習・演習	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程モバイルアプリケーション科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Webサイト構築演習	モバイルWebデザインの知識を活かしたWebサイト構築演習	2後	102	-	○			○			○	
○			就職実務	就職に関する試験、面接対策講義	2前	51	-	○			○			○	
○			通信ネットワークⅡ	Excelを使用した表計算実習	2後	18	-			○	○			○	
○			Androidアプリケーション開発技術者特別講義	Androidアプリケーション開発技術者試験合格に向けた特別講義	2後	105	-	○			○			○	
○			卒業制作	2年間履修した知識を活かした総合演習	2後	51	-			○	○			○	
合計					5科目		327単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：情報処理技術者能力認定試験3級・Javaプログラミング能力認定試験3級取得 履修方法：座学及びOA端末・スマートフォン等の教材を使用した実習・演習	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。